



ちきゅう 地球があたたかくなっている!?

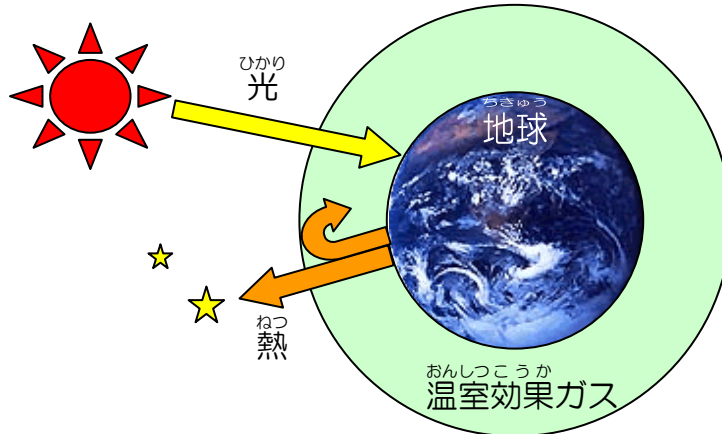
いま、わたしたちのくらしている地球が少しずつあたたかくなっているのです。

いったい、どういうことなのか考えてみましょう。

地球を包んでいる空気には、二酸化炭素などの温室効果ガスとよばれているものがふくまれています。この温室効果ガスには、熱をためる働きがあります。

太陽からくる光で地球の地面はあたためられます。この地面からは熱が出ていて、この熱を温室効果ガスがためているのです。

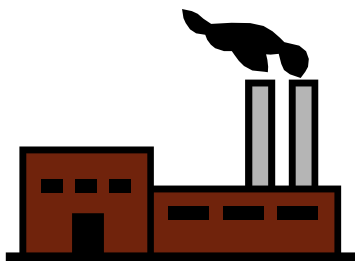
温室効果ガスがないと、熱がにげていくので地球はとても寒くなります。反対に、温室効果ガスがありすぎると、熱がたくさんたまって地球は暑くなります。これまでの地球には、温室効果ガスがちょうどよだけあったので、平均気温が15℃になっていました。ところが今、温室効果ガスがだんだんふえ、地球の気温が少しずつ高くなってきています。これが「地球温暖化」です。



なぜ、温室効果ガスはふえているのでしょうか？

地球温暖化の一番の原因は、二酸化炭素がとてもふえていることなのです。

二酸化炭素は、物やねん料などをもやしたときにでます。

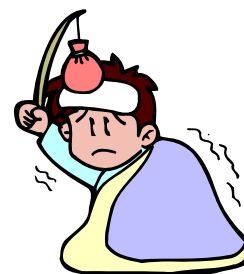
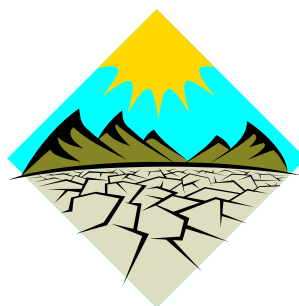
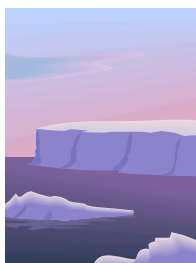


このままだとどうなるの？



このまま地球温暖化が進むと、どんなことが起こるのでしょうか？

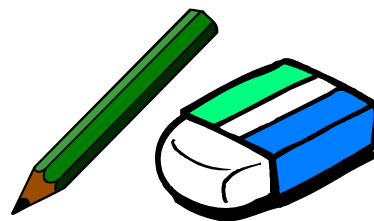
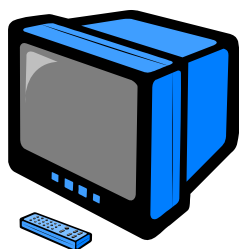
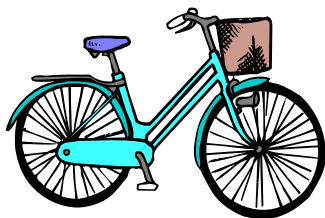
- ①南極の大きな氷や氷河が少しずつとけてしまい、その分、海の水がふえます。
すると、砂浜がへったり、ひどいところでは、島ごと海にしずんでしまいます。
- ②大雨がふったり、反対にほとんど雨がふらなくなったりします。
すると、作物があまり育たなくなるため、食べ物が足りなくなります。
- ③気温が高くなると、動物や植物の中で絶めつしてしまうものが出てきます。
また、マラリアなどの病気が、日本でも起こったりします。



地球温暖化を防ぐためには、どうしたらよいのでしょうか？

それは、二酸化炭素をあまり出さないようにすることです。

- ①近くに行くときは、なるべく車を使わないようにしましょう。
- ②発電所では電気をつくるときにたくさんの二酸化炭素を出します。だから、だれもない部屋の電気や見ていないテレビを消しましょう。
- ③ごみをもやすことをへらすためにも、物を大切に使いましょう。



この他にも、地球温暖化を防ぐ方法はたくさんあります。

わたしたち一人ひとりがちょっとしたことにも気をつけることが大切です。

みんなのおうちの方や先生などと協力して取り組みましょう。